

ASK レポート

2015年5月7日(木)
担当：MS事業部 三宮

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン名古屋ビル1F
ASK 税理士法人 TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

ドイツ研修報告

はじめに

先日、ドイツの研修ツアーに参加してきました。そこでは、日本で聞いていたドイツという国とドイツ人のイメージとは少しギャップがありました。その一旦を今回のレポートでは報告をさせていただきます。

労働者の権利が強い

ドイツでは、労働差別の禁止が法律に定められています。ASKニュースで書いた通り履歴書には名前以外個人に関する事項は書く必要がありません。パートと正社員の区別も働き方の違いのみで他は一切同じ扱いです。

また、従業員全員が訴訟保険に入っており、労使問題が勃発すればまず裁判で争われます。ドイツ人は訴訟好きで示談はまずありません。

有給も積極的に取るように企業から促されません。休暇中は企業はメールや電話をしてはいけないことになっています。完全に仕事と休暇が分けられています。

先日安倍総理の「全社有給最低5日間取れるようにするのが目標である」という演説をドイツ人が聞いた時はドイツ人全員が失笑したそうです。

超合理的主義

これだけ労働者の権利が強いにも関わらず、GDPが日本に次いで第4位である理由の一つとし

てドイツ人の働き方や考え方が超合理的だからです。その一つの例として、駅前、特にフランクフルトの駅前には、麻薬中毒者がその辺をうろついています。なぜなら駅前で覚せい剤を国が配布しているからです。しかし、彼らは一切悪さをしません。何もしなくても覚せい剤をもらえるので悪さをする必要がないからです。

すべては、自己責任で薬を使いたい人は使えばいいし、まっとうになりたい人は使わなければ良いという考えです。

アジア人=中国 家電=韓国

ドイツでの中国人の進出は甚だしく、また、あまり良い印象を持っていません。チャイナリスクを感じつつあるという段階です。

そして、特にフランクフルトでは、日本人も中国人もあまり違いが分かっていません。よってアジア人=中国人という印象をもたれてしまっています。

車は当たり前のようにベンツ、BMW、アウディーで日本車はマツダが頑張っているのみです。家電は、サムスン、LGだらけでSONYが頑張っているだけです。

日本は、完全にヨーロッパのマーケットを見誤っていると感じました。

しかし、日本のきめ細かいサービスは、ドイツ人にはまねができないし、そういうニーズはドイツ国内に間違いなくあるのでお客様目線の飲食店やサービス業、コンテンツ産業は、活躍できるチャンスが十分にあると感じました。